

◎本日のひとこと

エネルギー対応百年の計が必要な時…エネルギー危機勃発？ どの国も対応不足の感あります。対策が急務です。

◎注目企業！注目事業！注目商品

月日・情報媒体	内容・概略	一筆啓上
6月3日 日本経済新聞	米企業、じわり採用抑制 経済減速懸念、コロナ反動で <ul style="list-style-type: none"> ネットフリックス 150人削減 アマゾン・ドット・コム 赤字で人員過剰感 ツイッター 採用を一時凍結する方針 フィットネス機器のペロトン 管理部門の20%超解雇 	記事では「ウォルマートも純利益25%減で雇用の見直し」とのことです。米企業の苦境が伝わってきます。次は日本？ “独り勝ち 堪能前に 蒸発し”
6月3日 日本経済新聞	トヨタ自動車が家庭用蓄電池事業に参入 <ul style="list-style-type: none"> 車の技術応用 ハイブリッド車からも給電 専用アプリで設定する「おうち給電」システムを販売 	電気の流れが変わる？ 発電から給電、そして蓄電迄。 “お家での 電気不足がない未来”

◎投資に注目！

【株式投資・よもやま話】

◇6月3日 日本経済新聞 「大成建設が私募REIT」

- 10年後1000億円 不動産開発で収益拡大
 - 清水建設は資産運用会社を設立 23年運用開始
 - 西松建設は22年4月に都内のオフィスビル取得し許認可を待ってREITに移行 1000億円目指す
 - 鹿島は18年に250億円規模で私募REIT開始、23年時点で1000億円目指す
 - 長谷工コーポレーションは22年2月に賃貸マンションを中心に200億円で運用を始めた
 - 22年3月時点で国内の私募REITの運用総額は4兆7250億円、一般に公募より利回りは高い
- ゼネコンもついに目覚めた？ 私募REITは関連事業からコア事業へ育つ可能性を秘めています。

“家を建て 振りかえ見れば 城となり”

◇6月3日 日本経済新聞「物流REIT『勝ち組』降板？」

- 物流REITは依然として割高感も
- 需給悪化を懸念 日本の投資家のテーマは経済再開にシフト、ホテル系に資金
- 主要なホテルREITはNAV率（株式の株価純資産倍率に相当）が1倍を下回る

投資家の視線はコロナ後の経済再活動に移っているようです。鋭い嗅覚か？ 愚鈍の真似か？

“一手先 投資の極意 感頼り”

発行者：【中央総合事務所グループ】

株式会社中央経営コンサルタンツ&中央会・経営教育センター

文責：庄子 興

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目28番8号 ラ・ベルティ新宿9階

☎：03-5155-2858 ファックス：03-3207-3655 HP：<https://central-mc.jp>